



2006年9月15日

ロールス・ロイス製 Trent1000 が中国国際航空に選定される

【英国 2006 年 9 月 13 日】民間航空、防衛航空、船舶、エネルギー各分野の世界市場において事業展開をするロールス・ロイス社（本社：英国ロンドン、CEO：サー・ジョン・ローズ、以下「ロールス・ロイス」）は、中国国際航空（Air China）のボーイング 787 ドリームライナー15 機に搭載されるエンジンに、ロールス・ロイス製の Trent1000 が選ばれたと発表しました。

このTrent1000 の選定は、787 を発注した中国の航空会社の中で契約第一号になり、総額は 8 億米ドル（936 億円*）に相当します。今回の契約は、ロールス・ロイスが運航会社向けに提案している長期的かつ包括的なアフターメンテナンスサービス、TotalCare®を含んでおり、787 の引渡しは 2008 年 6 月から開始される予定です。

中国国際航空の李家祥（Li Jiexiang）会長は次のように述べました。「評価委員会において綿密な検討作業と満足のいく商議を行い、エンジンを Trent1000 に決定しました。この決定は、当社が 787 を運航させるに当たって、設定された要件のすべてを Trent1000 が満たしているという議論に基づくものであり、当社の今後のビジネスの発展に大きく寄与すると確信しています。ロールス・ロイスと中国国際航空とは長年にわたり良好な協力関係にあり、この関係はさらに深まっていくことになるでしょう。」

ロールス・ロイスの会長であるサイモン・ロバートソン（Simon Robertson）は次のように述べています。「世界で最も速いスピードで成長している中国の航空市場における成功は、当社にとって戦略上大変重要です。その中国を代表する航空会社が Trent1000 を選択したことは、非常に意義深いことです。」

ロバートソンはまた次のように述べました。「中国国際航空はエアバス A330 搭載エンジンに別のトレントエンジンを選定しています。トレントファミリーの信頼性を再確認頂けた結果、この度、Trent1000 を選定頂いたものと思います。フラッグキャリアである中国国際航空に Trent1000 の最初の顧客となって頂けたことを光栄に思っています。」

Trent700 を搭載した A330 の 20 機は、今年中に中国国際航空に引渡される予定です。また、同社のボーイング 757 にはロールス・ロイス製の RB211-535 エンジンが搭載され、安定した運航に貢献しています。

なお、ロールス・ロイス製エンジンは、香港、マカオに拠点がある会社を含めて、中国の航空会社 10 社に利用されています。

* 1 ドル=117 円にて換算

ご参考：

1. Trent1000 は、ボーイング 787 のすべてのタイプにローンチエンジンとして指定されています。ローンチカスタマーである全日本空輸（ANA）は 787-8 の運航開始を 2008 年中期に、短距離型 787-3 の運航開始を 2010 年に予定しています。また同じく 2010 年には、ニュージーランド航空（Air New Zealand）が 787-9 の運航を開始する予定です。
2. Trent エンジン搭載の 787 は確定およびオプションを合わせて合計 154 機、8 社の航空会社およびリース会社によって現在発注されています。
3. Trent1000 の初号エンジンは、2006 年 2 月に予定通り初のグラウンドテストを行いました。同エンジンを搭載した初飛行は、ボーイング 747-200 フライイング・テスト・ベッドで 2007 年第一四半期に行われる予定です。
4. ロールス・ロイスが他社に先駆けて中国市場に参入してから 40 年以上が経ちました。中国は、航空エンジン、船舶用ガスタービン、発電プラント用大型ガスタービンなど、ロールス・ロイスの主力製品の事業展開にとって最も重要な市場であるとともに、製造面においても大切なパートナーです。またロールス・ロイスは、合弁企業である香港エアロエンジン・サービス社（HAESL）および西安ロールス・ロイス・エアロコンポーネント社（XRA）の経営にも参加しています。
5. ロールス・ロイスは中国民用航空総局（CAAC）とともに、『トップ 300』エグゼクティブ開発プログラムを共同で実施しています。今年で 10 周年を迎えたこのプログラムは、10 年間の延長契約が新たに交わされました。